

成果の説明書

(氏名) 西沢淳男	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 研究として、昨年度の中核となる仕事は、原著『代官の日常生活』（講談社選書メチエ）を大幅に改訂して、角川ソフィア文庫より単著を上梓したことである。 次に、前年度から引き続き東京大学史料編纂所に所蔵されている「代官竹垣直道日記」の翻刻作業である。日記は古代・中世史研究においてはよく利用されるものであるが、近世史研究においても近年利用が活発になってきている。日記には公務は勿論、その時代の生活・文化・風俗や各種通達の写しなど多岐にわたっており、史料翻刻は学会の共有財産として広く活用されていくべきものとして、翻刻の掲載と公開をはじめた。日記は文字が難解な上に紙幅の都合で、学内学会機関誌に半年分(1冊)の翻刻を発表した。 また、「竹垣日記」同時代日記の対比検討史料として東京大学法学部法制史資料室蔵「飛驒郡代豊田友直日記」を個人研究費により複写し、分析を開始した。この途中成果公開として、NHK 文化センターで開催の講演会において、「御代官様の田舎暮らし」と題して講演した。 地域貢献として、川口市教育委員会が進める文化財である市内各村の「御用留」の翻刻作業に関連して、史料集・解説書刊行に向けての助言・監修を行った。これに関連した文化財歴史講演会において、「江戸時代の地方支配」と題して、最新の研究成果をもとに村の支配のあり方を、「御用留」にもとづきながら、わかりやすく市民に講演した。 27 年度川口市郷土史会の定期総会において、「江戸幕府における代官伊奈氏」と題する記念講演を行った。また、同会の 27 年度歴史講座として「江戸幕府における代官伊奈氏の地位と在地支配」と題して講演した。何れも一般市民にも開放された。 歴史的資産を活用した地域活性化の取り組みをおこなっている長野県飯島町において地域史ゼミ合宿を実施した。「飯島町の歴史・文化財を活かしたまちづくり」についてグループに分かれてワークショップをおこない、これに飯島陣屋友の会会員もグループに加わり討議し、この成果レポートを教育委員会へ提出した。これは総務課やまちづくり推進室、商工観光係などにも回覧し、副町長まで見てもらい、各部署で共有することとなった。 社会貢献として、埼玉県川口市の文化財保護審議会委員及び川口市遺跡調査会理事として、市の文化財保護行政について助言・指導をし、埋蔵文化財調査について指導・監督した。	
2 その他の事項 法政大学大学院史学専攻の博士前期課程・後期課程のゼミにおいて、学位論文指導及び学位審査を行った。	
3 次年度以降の計画・抱負 同時代期の幕臣(代官)日記の比較検討のため、翻刻成果公開中である「代官竹垣直道日記」と併行して、本年度より着手した「飛驒郡代豊田友直日記」の翻刻を進めていきたい。 一昨年度出版した『徳川幕府 全代官人名辞典』（東京堂出版）をもとに、以前発表した「幕領代官・陣屋データベース」の照合・訂正及び充実をし、改訂版の公開に向けて作業を引き続き進めていく。	